

みなさんと議会を結ぶ……議会だより

の 議会ゆがわら

平成24年9月

No.83

湯河原町議会のホームページ <http://www.town.yugawara.kanagawa.jp/>
湯河原町議会のE-mail gikai@town.yugawara.kanagawa.jp

編集/発行 湯河原町議会
〒259-0392
神奈川県足柄下郡湯河原町中央二丁目2番地1
TEL 0465-63-2111(代) FAX 0465-63-9674



6月
定例会
6/6~18



議会報告会を 開催しました

7月7日(土) 宮下会館にて

- 6月定例会・・・2～5
 - (一般質問・・・2～3)
 - (主な条例改正等・・・4)
 - (審議と賛否・・・5)
- 議会報告会・・・6～7
- 一般会議・・・8
- 委員会だより・・・9～11
- 視察・研修の受入れ・・・12

6月定例会

平成24年第4回湯河原町議会6月定例会は、6月6日から6月18日までの13日間（本会議開催3日間）にわたり開催されました。

この定例会では、条例、補正予算、指定金融機関の指定、動産の取得、人事など議案12件のほか、湯河原町選挙管理委員及び選挙管理委員補充員の選挙、陳情審査3件、意見書1件、決議1件などを審議しました。

一般質問

※一般質問とは…
議員が本会議で、議長の許可を得て、町政全般（一般事務、事業の執行状況、将来に対する方向性など）について、町長など執行機関の考え・方針を議員個人として質問することです。
質問内容は、あらかじめ議長に通告しなければなりません。

Q 精神障がい者福祉施策の充実について

佐藤 恵議員
平成18年に障がい者が少しでも自立できるようにとの思いから、障害者自立支援法が施行され、制度格差の解消や実施主体の市町村への一元化、障がい者福祉サービス体系的の再編成や就労支援の強化がより一層推進さ

れるようになりました。そこで湯河原町の取組について、町長にご質問します。

今年4月から、神奈川県の助成制度として重度障害者医療費助成制度の対象者の中に、精神障がい者保健福祉手帳1級の交付を受けた、重度の精神障がい者を加えることになり、通院医療費を診療科を問わず、全額助成することになりました。この制度について湯河原町はどのように考え、活用する考えはあるのかお伺いします。

A 本町における本制度の導入については、県西地域2市8町で足並みを揃える方向で情報の共有をしているところですので、財政面、近隣市町の動向などを見据えながら、検討していきたいと考えています。

Q 湯河原町の学校図書館関係の財政措置について

小澤眞司議員
文科省では、平成19年度からの「新学校図書館整備5か年計画」で、学校図書館整備のための総額1,000億円の地方財政措置をとりました。さらに、平成24年度からの新5か年計画では、同じように学校図書整備のための総額1,000億円の地方財政措置に加え、新たに、2番目として、学校図書館への新聞配備のための75億円の地方財政措置、3番目として、学校図書館に担当職員（学校司書）を2校に1名程度、1週30時間程度の人員配置の地方財政措置をとり、学校図書館を活用してほしいという提案をしています。特に中学校におい

ては、学校図書館を開くことが、なかなか難しいとは思いますが、少しでも児童・生徒が本を読む時間をつくっていくべきだと思えます。

このように、文科省が提案した財政措置を湯河原でも活用して、児童と生徒の本をつなぐことを進めていく必要性について、教育委員会からご答弁をお願いします。

A 文科省の財政措置により地方交付税算定に係る基準財政需要額に算入されることになりましたが、全額が交付税として交付されるわけではないので、学校図書館への新聞配備については、各学校で購読している新聞を学校図書館に配置したいと考えています。非常勤職員を含めた学校司書の運用については、平成24年度に導入する町立図書館の管理システムとの連携も含

め、今後研究したいと考えています。

【その他の質問】

・湯河原町の住宅リフォーム助成制度に見る地域経済への波及効果について

Q 高齢者が安心して町内で暮らし続けられるまちづくりについて

善本真人議員

私どもの町は、高齢者の方が総人口に占める割合として31.4%となり、超高齢社会を迎えています。その中で、国民年金の収入だけで生活している高齢者の方も少なくありません。その方々から、低料金を入所できるように介護施設が足りないのでは、将来が不安であるという苦情が、私のところにも届いています。低料金、国民年金の収入で、特別養護老人ホーム

のみが入所できる場所ですが、要介護3以上の条件、またベッド数に限りがあります。

国の介護保険制度において、施設重視から在宅重視の方向へと移行してきました。そこで、特別養護老人ホームと同じようなサービスが、在宅の形で受けられる、24時間訪問介護サービス制度を本町においても導入し、実施展開することが最良だと考えられます。そのためには、町が制度の導入に向けて、早急に関係機関へ働きかけ、取り組み状況にあると思いますが、どんなお考えでしょうか。

A

24時間対応型の訪問介護サービス、夜間対応型訪問介護サービス等のサービスは、湯河原町、真鶴町、熱海市において、まだありません。また、参入する事業者についても、参入によっての事業運営の関係もあります

し、町のニーズ、事業者の参入意向等を考えながら、24時間対応型は、地域密着型サービスです。町に指定権限等もあります。いまご提案をいただいたことについては、医療機関等に、それが対応できるかどうか、今後検討していきたいと考えています。

【その他の質問】

・町立中学校における防災策と防災教育の充実について

Q 停止中の浜岡原発の廃炉を求める意思表示をすることについて

丸山孝夫議員

①脱原発の動きで、大磯町の議会が全会一致で、新しい日本のエネルギー政策を早期に求めるとする政府への意見書を採択しました。東海地震の震源域にある浜岡原発で事故が起きれば町に

与える影響は計り知れないものがあります。大地震が予想されている昨今、町民の安心・安全、町観光の発展、子どもたちの将来のためにも、廃炉の意思表示を行うべきだと思います。考えをお示しください。

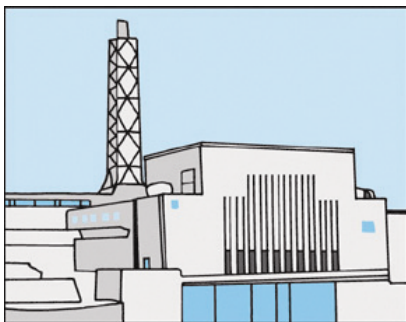
②「脱原発を目指す首長会議」が結成され70の現職の首長などで発足し、国のエネルギー基本計画に原発ゼロを盛り込むよう求める決議をいたしました。この会議の設立趣意書には「福島原発のメルトダウンにより、広範囲で長期の健康・環境被害をもたらした。私たち大人は、又自治体は子どもたちの生存権を保障する義務がある。」としています。町としてはどのようなように考えていますか。

A

①福島原発による農作物などへの、甚大な被害と

ふるさとを追われた方々の気持ちを察すると、浜岡原発の永久停止や廃炉への運動といった脱原発への動きが大きくなることは、致し方ないことであり、国や東京電力の責任を強く感じるところです。安全で安定的な電気の供給ができるエネルギー政策の転換を国や県に要望していきたいと考えています。

②「脱原発を目指す首長会議」の対応については会員にはなっていませんが、今後開催される会議資料等の案内は送付していただくこととしています。



条例の制定・改正

●外国人登録法の廃止及び住民基本台帳法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例（制定）

外国人登録法の廃止及び住民基本台帳法の一部を改正する法律の施行に伴い、関係する条例を整備するため条例を制定しました。

●湯河原町特定滞納者に対する特別措置に関する条例（一部改正）

本条例の適用を受ける歳入として、後期高齢者医療保険料等を加えるため、条例の一部を改正しました。

人事案件

◆湯河原町固定資産評価審査委員会委員の選任について

福井照夫さんの任期が

平成24年6月24日で満了となるため、引き続き福井さんを固定資産評価審査委員会委員に選任することに同意しました。

また、石川博さんの任期が平成24年6月24日で満了となるため、新たに室伏和夫さんを固定資産評価審査委員会委員に選任することに同意しました。任期は、いずれも平成27年6月24日までです。

◆人権擁護委員候補者の推薦について

鈴木眞一さんの任期が平成24年9月30日で満了となるため、新たに小池富男さんを候補者として法務大臣に推薦することに同意しました。任期は、平成27年9月30日までです。

◆湯河原町選挙管理委員及び湯河原町選挙管理委員補充員の選挙について

指名推選による選挙の結果、次の方々が当選されました。任期は、平成24年8月12日から平成28

年8月11日までです。

- 選挙管理委員
神永 繁さん（再任）
梅原 紘明さん（再任）
渡邊乃里子さん（新任）
露木 一廣さん（新任）
- 選挙管理委員補充員
浅田 晶子さん（新任）
木村千鶴子さん（新任）
山本 眞一さん（再任）
小澤千鶴子さん（新任）

動産の取得

「災害対応特殊消防ポンプ自動車（救助仕様）」、「消防ポンプ自動車」、「高規格救急自動車」、「高規格救急自動車積載高度救命処置用資機材等」の4件の動産の取得を議決しました。

専決処分の承認

●平成24年度湯河原町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

平成23年度湯河原町国民健康保険事業特別会計において歳入が歳出に不足することから、平成24年度の歳入を繰り上げて充用する措置を講じるため、専決処分した補正予算の報告を受け、承認しました。

専決処分とは
地方自治法で決められた議会が議決すべき事項について、議会を招集する時間的余裕がないなどの場合に、議会が議決する前に町長が処理をすることを専決処分といいます。
専決処分により処理した事項は、次の議会において議会に報告し、承認を得なければなりません。

補正予算が決まりました

会計名・補正額	概要
一般会計（第1号） （310万円の増額）	環境保全推進事業費の増額 農地保全活動事業費の増額 木造住宅耐震化補助事業費の増額 消防団活動用資機材等整備事業費の増額 防災マップ改訂事業費の増額 など
国民健康保険事業特別会計（第1号） （増減なし）	平成23年度国民健康保険事業特別会計において、歳入が歳出に不足することから、平成24年度の歳入を繰り上げて充用する措置を講じるもの （予備費の減額及び繰上充用金の増額）

- 一般会計補正予算の主な質疑
- ・コミュニティバス運行事業について
 - ・農地保全活動事業について
 - ・案内所運営事務経費について
 - ・雇用促進相談事業について
 - ・消防団活動用資機材等整備事業について
 - ・防災マップ改訂事業について
 - ・学びづくり推進地域研究事業について

審議した議案と各議員の賛否

○は賛成、×は反対を表しています。

(平成24年6月定例会)

議案番号	議案名	議員名											審議結果	
		室伏寿美夫	山本俊明	村瀬公大	善本真人	佐藤孝恵	丸山孝夫	露木寿雄	室伏重孝	中島寛	原田洋	小澤眞司		土屋誠一
26	専決処分の承認について（平成24年度湯河原町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
27	外国人登録法の廃止及び住民基本台帳法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
28	湯河原町特定滞納者に対する特別措置に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
29	平成24年度湯河原町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
30	湯河原町指定金融機関の指定について（スルガ銀行株式会社）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
31	動産の取得について（災害対応特殊消防ポンプ自動車の購入）	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
32	動産の取得について（消防ポンプ自動車の購入）	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
33	動産の取得について（高規格救急自動車の購入）	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
34	動産の取得について（高規格救急自動車積載高度救命処置用資機材等の購入）	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
35	湯河原町固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
36	湯河原町固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
37	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
陳情1	町道黒石線拡幅改良及び町道幕山公園通り線JR東海道線ガードの拡幅改良の実施に係る陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情4	湯河原温泉万葉荘の存続を求める意見書の提出を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
意見書1	湯河原温泉万葉荘の存続を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情7	コミュニティバスについての陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨採択
決議1号	教育施設のあり方等調査特別委員会設置に関する決議	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決

議会報告会

テーマ：「平成 24 年度予算の主な事業と審議内容」

日時 平成24年7月5日(木)
午後7時から
会場 鍛冶屋会館 2階大会議室
参加者 36人 出席議員 12人

日時 平成24年7月7日(土)
午後2時から
会場 宮下会館 2階大会議室
参加者 28人 出席議員 12人

議会報告会とは…

湯河原町議会基本条例の規定に基づき、湯河原町議会が主催して開催するものです。

① 議会の活動状況（主な議案の審議の経過）
② 新年度予算の主な事業
③ 町政の重要課題

などの特定のテーマについて、私たち町議会議員が直接、町民の皆さんに説明し、意見交換を行うものです。

私たち議会は、議会報告会を通じ、町民の皆さんの声をお聴きし、町政に反映させていきたいと考えております。

次回は、平成24年10月中旬から11月上旬頃の開催を予定しています。

議会報告会内容

今回の議会報告会は、平成24年度予算を細部にわたり審議するために設置された予算審査特別委員会の委員を務めた各議員が質問した内容と行政の回答を中心に説明しました。説明終了後、質問や意見をお聴きし、アンケート調査を実施しました。

平成 24 年度予算の主な事業と審議内容について説明した項目

- 1 弁護士委託料（原田 洋議員）
- 2 メール配信サービス事業（山本俊明議員）
- 3 戸籍システムについて（小澤眞司議員）
- 4 地域福祉センター・冷暖房費保守点検委託料（山本俊明議員）
- 5 おにわ・たちばな保育園乳児避難車（高橋延幸議長）
- 6 不法投棄・散乱ごみ防止事業（小澤眞司議員）
- 7 幕山保安林地域整備事業（室伏重孝議員）
- 8 地域水源林整備事業（小澤眞司議員）
- 9 夏季行事開催事業（村瀬公大議員）
- 10 観光立町推進事業（村瀬公大議員）
- 11 中学校前歓迎塔整備事業（高橋延幸議長）
- 12 ござめの湯改修事業（高橋延幸議長）
- 13 駅前エレベーター用防犯カメラ借上料（佐藤 恵副議長）
- 14 パークゴルフ調査委託料（佐藤 恵副議長）
- 15 図書館システム更新事業（山本俊明議員）
- 16 普通救命講習会開催事業（村瀬公大議員）
- 17 給食調理業務委託事業（原田 洋議員）
- 18 放課後児童健全育成事業（原田 洋議員）



質疑の内容 (要約)

- 1 一昨年、図書館のために寄附された約 800 万円の使途について
- 2 今の駅前広場はタクシーとバスで観光地としてあまりにもさつぱつとしている。駅前広場をどのように整備をしていくのか。
- 3 幕山公園の梅をきれいに咲かせるために肥料を多くした方がよいと思う。
- 4 農地保全活動事業により、花が咲くと観光資源になると思うが、観光協会等の団体と連携をして事業を進めていった方がよいと思う。
- 5 幕山公園の入園料、売店の収入、場所代等について
幕山保安林地域整備事業の財源の内訳等について
- 6 湯河原は観光地なので、ごみの出し方を厳しくしてほしい。
- 7 使用した資料について昨年度との比較がわかるようにしてほしい。
- 8 もう少し事業を細分化して説明してほしい。
予算の内訳も記載してほしい。
- 9 中学校に関する特別委員会の人数と委員の選出方法について
- 10 湯河原町が中学校を取得しないと、落下防止柵を設置できないということについて
- 11 中学校の購入予定価格について
- 12 湯河原町が中学校購入のため支出をするのは納得できない。
- 13 防災講演会で講師をされた宮城県議会議員が危ないと言及した千歳川の津波対策について



アンケート結果 (要約)

- 1 他の地区でもこまかい説明を広くやってもらったら良いのでは。
胸をいためる孤独死、いじめ、我が子供のあつかい、生活苦、環境、働き方など、町民の声に対応出来ますようお願いします。
町民のニーズに目くばり、気くばりし、町職員とも町民の期待に答えてほしい。
- 2 一般会計予算の質問項目の金額の下に () で昨年度決算額又は昨年の予算額との増減を記入してほしい。
中学校交差点に新しく設置した歓迎塔は大変わかりにくい、一目でわかるように「湯河原温泉」とか塔の上にわかりやすい看板をもう一つ付けた方が良くわかると思う。
現中学校の震災被害に対する対策を早く結論を出して実施してもらいたい。
5年前に引っ越してきましたが、あまりにも国保料が高いのにびっくりしました。町の予算からどのくらい繰入れしているのか。
- 3 今回は「一般会計予算」と区切られていましたが3月、4月の議会の内容についても報告していただければと思いました。
震災、津波、6.5mで安心、中学校は安全と思いたまえないでいただきたい。津波はその発生源でどのように来るのかわからないのですから!!
- 4 大変勉強になりました。
なかなか議会の傍聴には時間の都合上行けないので、今後もぜひ継続していただきたい。
若い世代の参加者が少ない事が心配なところなので、そういう方たちが来やすい環境づくりや広報をお願いします。
- 5 < 歓迎塔について >
私達の町のイメージを表現しお客様にインパクトを与えるにふさわしいと思われませんか?
< 駅前整備 >
観光業者、行政、町議、町民が限作品に対し共感しこの町のコンセプトにふさわしいかどうかで決定すべきです。
< 美術館について >
4月に企画に協力し、その後の企画に疑問をいただいております。町民の文化向上のためにもう少し考えを変えること出来ないもののでしょうか?

平成 24 年度湯河原町議会一般会議

一般会議とは

一般会議とは、私たち町議会議員と町内で活動している各種団体の皆さんなどが、町政に関する事、議会活動への意見・要望及び提言などについて、幅広く自由に意見交換を行う場です。議長に開催の申込みがあった場合、議長の諮問機関である「議会運営委員会」において、開催する必要があるかどうかを協議し、開催を決定させていただきます。

第 1 回 テーマ：「教育施設のあり方について」意見交換

日時：平成24年6月1日(金) 午後3時30分～4時50分

場所：議会協議会室

出席者：教育長、教育委員4人

議長、議会運営委員会委員7人（副議長含む）



内容

- (1) 教育施設（中学校）の現況、今出来ることについて
- (2) 今後の教育施設のあり方について

主な意見交換

- ・子供たちを安全に避難させる方策を早急に講じることについて
- ・神奈川県ハザードマップの数字では、グラウンドでも対応できるが、屋上に転落防止柵を設置することでより子供たちの安全を確保することができる。
- ・子供たちが自分の身を守るための教育は、教育委員会としても行っているが、施設整備などのハード面は議会の協力をお願いしたい。
- ・今後のあり方については議会でも議論していただきたい。その中で教育委員会の意見を聞いてもらえる場を設けてほしい。

第 2 回 テーマ：「地震・津波から住民を守る防災対策について」意見交換

日時：平成24年6月27日(水) 午後3時00分～4時42分

場所：議会協議会室

出席者：湯河原革親懇5人

副議長、総務文教・福祉常任委員会委員6人（議長含む）



内容

- (1) 地震と津波に関連して問題にされていることについての紹介
- (2) 地震と津波に対する基本的な立場について
- (3) 中学校に関連しての問題点について
- (4) 住民の生命と財産を守る防災対策のあり方について

主な意見交換

- ・予算が確保されているのに、落下防止柵設置の工事がすぐに始められないことについて
- ・中学校を購入するとした場合の今後のあり方について
- ・特別委員会での議論の方向性等について
- ・特別委員会で図書館についても議論することについて

委員会だより

環境・観光産業 常任委員会

(6月11日開催)

○付託陳情
●「町道黒石線拡幅改良及び町道幕山公園通り線JR東海道線ガードの拡幅改良の実施に係る陳情書」について

現地の状況を確認するため全委員で現地調査を行い、その後の委員会では、他のJRガードのことや、小田原湯河原地区広域農道の接続工事に伴う今後の交通量の見込みなどについての質疑がなされました。
町道黒石線及び町道幕山公園通り線（JR東海道線ガード）の拡幅改良については、両町道とも鍛冶屋地区の住宅化による交通量の増加に伴い、吉浜小学校へ通う児童はもとより、

地域住民、観光客等の通行に支障をきたしている現状を踏まえると、町道黒石線については工事を再開し早期完成を目指し、町道幕山公園通り線JR東海道線ガードの拡幅改良工事については、国、県及びJR東日本旅客鉄道にも働きかけ、実現を目指す必要があることから、採択すべきものと決定いたしました。



●「湯河原温泉万葉荘の存続を求める意見書の提出を求める陳情」について
委員会では、万葉荘の利用者数、営業の中止を検討するに至った経緯、

今後の予定等についての質疑がなされました。
湯河原温泉万葉荘は、長年、湯河原町の観光客誘致の一翼を担い、地域振興に大いに寄与してきました。また、地域経済の活性化にも大いに貢献してきました。
万が一、万葉荘が閉館となれば、湯河原町の観光振興、地域経済にも大きな影響を及ぼすことが懸念されるため、採択すべきものと決定しました。

◆湯河原温泉万葉荘の存続を求める意見書

「湯河原温泉万葉荘の存続を求める意見書の提出を求める陳情」を採択することに決定したため、神奈川県知事に意見書を提出しました。併せて、神奈川県議会議長と公益財団法人 神奈川県産業振興センター理事長に要望書を提出しました。

○主な報告事項

●平成24年度夏季行事実施計画について
平成24年度の夏季行事

実施計画について説明を受け、今年度は新たに7月に花火大会を開催することについて報告を受けました。

●湯河原町観光立町推進計画について

平成24年6月に「湯河原らしい」真の観光立町実現のため策定する「湯河原町観光立町推進計画(案)」の概要と3月中に実施したパブリックコメントの結果について報告を受けました。

●平成23年度海浜公園テニスコート利用状況について

指定管理者が管理運営している海浜公園テニスコートの平成23年度の利用件数及び管理運営状況の評価について報告を受けました。

●平成23年度ごごめの湯、観光会館、独歩の湯利用状況について

指定管理者が管理運営しているごごめの湯、観光会館、独歩の湯それぞれ

の平成23年度の利用件数及びそれぞれの管理運営状況の評価について報告を受けました。

●平成23年度湯河原梅林「梅の宴」実施報告について

平成24年2月4日から3月18日まで開園した梅の宴の入園者数、駐車場利用状況、パーク＆バスライドの状況等について報告を受けました。

●箱根・湯河原・熱海、あしがら観光圏事業について

平成23年度の事業実績の報告と今年度の実施が予定されている事業について報告を受けました。



総務文教・福祉
常任委員会

(6月13日開催)

○付託陳情

●コミュニティバスについて
の陳情

委員会では、現在の利用状況、他の路線の実証実験、アンケート調査の実施などについての質疑がなされました。

コミュニティバスは、交通不便地域の解消を目的として、平成12年7月1日から本格運行を開始以降、一定の乗車人員を確保してきましたが、平成20年度以降、乗車人員が減少傾向にあり、陳情の内容にある「全町に公的なコミュニティバスの運行」をすることについて認めることは、困難な状況にあります。

しかしながら、「コミュニティバスについて」は本委員会でも継続調査を必要とする事項となっており、コミュニティバスの運行に対する陳情とい

う趣旨は理解できるため、趣旨採択すべきものと決定しました。

○主な所管事務調査

●コミュニティバスの運行状況について

コミュニティバスの本格運行を開始した平成12年度以降の乗車人員の推移と平成23年度の運行経費の状況について報告を受け、今後の検討課題等について審議しました。

●平成24年度湯河原町総合防災訓練の日程及び神奈川県津波浸水予測図について

平成24年度の湯河原町総合防災訓練の実施内容についての報告を受けました。

平成24年3月30日に神奈川県が発表した神奈川県津波浸水予測図をもとに湯河原町内各地区の最大津波高と到達時間について説明を受けました。

●個人町民税均等割の税率について

東日本大震災からの復興に関し地方公共団体が実施する防災のための施

策に必要な財源の確保に係る地方税臨時特例法により、平成26年度から平成35年度までの個人町民税均等割の税額を五百円引き上げることについて報告を受けました。

●有料老人ホーム・グループホーム等の施設整備について

平成24年度からスタートする第5期介護保険事業計画に基づき、湯河原町が整備する有料老人ホーム・グループホームについては、事業者を公募し、選定委員会において事業者を選定することについて報告を受けました。

●国民健康保険について

平成23年度において国からの財政調整交付金が不足となるため、平成24年度から繰上充用することについて報告を受け、国民健康保険料への影響等について審議しました。

●図書館開館時間について

平成23年1月から現在まで試行的に実施している図書館の開館時間延長

について、アンケート結果を踏まえ、9月1日から図書館の開館時間を9時30分～18時までとすることについて報告を受けました。

○主な報告事項

●非常勤弁護士への任用について

平成24年6月1日から任用した非常勤弁護士について報告を受けました。

●医療法人社団翔健会熱海温泉病院の返還請求について

医療法人社団翔健会熱海温泉病院が人員基準違反等により、平成23年1月31日付で指定取消となったため生じた介護給付費等の返還請求について報告を受けました。

●ポリオワクチンについて

ポリオを予防するため、生ポリオワクチンにより実施していた予防接種を平成24年9月から国の方針に基づき、不活化ポリオワクチンに切り替えることについて報告を受けました。

●平成24年度湯河原町教育委員会基本方針について

教育委員会が策定した平成24年度教育委員会基本方針についての報告を受けました。

●平成23年度社会教育事業の実施状況について

平成23年度放課後児童健全育成事業の実施状況、平成23年度放課後子ども教室（そよかぜきょうしつ）の実施状況、指定管理者が管理運営しているヘルシープラザの平成23年度の利用件数及び管理運営状況の評価について報告を受けました。

(7月18日開催)

○主な所管事務調査

●平成24年度湯河原町総合防災訓練実施計画概要(案)について

平成24年度の湯河原町総合防災訓練の実施内容について報告を受け、審議しました。

広域行政 特別委員会

(4月12日開催)

湯河原町と真鶴町の広域行政について下水の処理に関する負担の取扱い及び尿等貯留施設の移転について審議しました。

(5月1日開催)

県西地域の消防の広域化について、神奈川県西部消防広域化協議会の報告を受けました。

湯河原町と真鶴町の広域行政について下水の処理に関する負担の取扱い及び尿等貯留施設の移転について審議しました。

(5月25日開催)

熱海市と湯河原町で推進している広域行政の事業について平成23年度事業経過の報告と平成24年度事業計画の報告を受けました。

23年度事業経過の報告と平成24年度事業計画の報告を受けました。

(6月25日開催)

湯河原町と真鶴町の水道事業広域化について調査した結果の報告を受けました。

湯河原町と真鶴町の広域行政について平成23年度推進事業経過の報告と平成24年度の予算案の報告を受けました。

湯河原町と真鶴町の広域行政について下水の処理に関する負担の取扱い及び尿等貯留施設の移転について審議しました。

町税等徴収対策 強化特別委員会

(5月28日開催)

平成23年度3月末町税等収納状況、滞納繰越分滞納者、特定滞納者に対する特別措置についての報告を受け、今後の収納対策について審議しました。

タイヤロックによる差押処分を実施することについて報告を受けました。

(7月18日開催)

平成23年度町税等収納状況、滞納繰越分滞納者、特定滞納者の認定についての報告を受け、今後の収納対策について審議しました。

教育施設のあり方 等調査特別委員会

(6月18日設置)

6月1日に教育委員と議会運営委員との一般会議を開催し、「教育施設のあり方について」意見交換や情報交換を行った結果を踏まえ、①教育施設の現状調査に関する事項、②教育施設の今後のあり方等調査・検討に関する事項について調査することを目的として「教育施設のあり方等調査特別委員会」を設置しました。

この委員会では、小・中学校の教室等の利用状況などの教育施設の現況を踏まえた防災対策などを早急にすべきこと、児童生徒数の減少などの推移を踏まえた今後のあり方等について調査・検討を行ってまいります。これまでに3回の委員会を開催し協議を行っています。

- (委員長) 松野 満
- (副委員長) 室伏 重孝
- (委員) 室伏寿美夫
- 山本 俊明
- 村瀬 公大
- 善本 真人
- 小澤 眞司

(6月18日開催)

湯河原町教育施設の現況について、平成24年度の小・中学校のクラス編成、平成36年度までの児童・生徒数の見込み、中学校校舎の配置等の説明を受けました。

湯河原中学校大規模改修事業のスケジュールについて報告を受け、その内容について審議しました。

(7月13日開催)

7月9日に開催された保護者説明会での質疑応答の様子について報告を受け、教育委員会が保護者に回答した内容について審議しました。

現在の小・中学校の空き教室等の利用状況について説明を受け、生徒数の推移を踏まえた教室の利用状況に加えて具体的な避難経路について審議しました。

(8月22日開催)

湯河原中学校屋上避難路改修工事について説明を受け、工期や補助金、所有者である県との折衝経過・状況等について審議しました。



視察・研修の受入れ

平成24年6月22日に栃木県上三川町議会議員7人が議会基本条例の視察研修のため来町されました。

全国で2番目に「議会基本条例」を制定した本町議会へ「議会基本条例、議会改革、議会活性化等」の視察・研修のために全国から多くの団体が来町されています。

平成19年からこれまでに76団体777人が視察のため来町されました。



年度	団体	人数
平成19年度	18団体	181人
平成20年度	26団体	249人
平成21年度	13団体	141人
平成22年度	8団体	118人
平成23年度	10団体	81人
平成24年度	1団体	7人
計	76団体	777人

(平成24年8月現在)



傍聴のご案内

本会議及び常任・特別委員会は、傍聴ができます(本会議の傍聴は、先着20名、委員会の傍聴は、先着6名です。)

【受付】開催日の午前9時から

【場所】第1庁舎2階 議会事務局

9月議会日程

9月11日(火)午前 本会議(条例・補正予算等)

13日(木)午前 本会議(一般質問等)

18日(火)午前 環境・観光産業常任委員会

20日(木)午前 総務文教・福祉常任委員会

24日(月)午前 本会議(決算質疑等)

25日(火)午前 決算審査特別委員会(一般会計)

26日(水)午前 決算審査特別委員会(特別会計・企業会計)

10月2日(火)午前 本会議(委員長報告等)

【午前は10時、午後は1時の予定です。】

編集後記

上の記事にもありますように、湯河原町議会では、全国に先駆けて(全国で2番目)議会の最高規範として「議会基本条例」を制定し、これまでに全国各地から視察に訪れ、湯河原町に宿泊をいただいています。

各議会で「議会基本条例」の制定が進み、視察の件数は減少傾向にありますが、今後も「議会基本条例」制定の先進地の名に恥じないようにしたいと思います。

(山本 俊明 記)

議会だより編集委員会

委員長 村瀬 公大

副委員長 山本 俊明

委員 善本 真人

原田 洋

中島 寛

高橋 延幸